

# 中核的施設と空間デザインの検討

【平成30年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会 資料】

平成30年5月10日

# 計画平面図



# 雲雀野海岸側からの鳥瞰





## 検討項目1【公園の利用形態や整備コストを考慮した祈りの場の空間デザイン】

- 門脇広場から中核的施設を経て祈りの場に至る空間の舗装の検討
- 第2レイヤーである街の記憶を尊重したVIP動線の設定
- 疎林の中の広場を思わせるVIP動線の空間デザイン
- 第2の祈りの場と位置付けた中核的施設の仕上げ

## 検討項目2【公園の利活用を考慮した植栽のあり方】

- 中核的施設から日和山が意識し続けられる高木植栽位置の設定
- 中核的施設からの避難を考慮した外構植栽

## 検討項目3【既存構造物を活用した聖人堀の空間デザイン】

- 既設構造物の把握
- 既設構造物を活かした断面構造のあり方
- 既設構造物を活かした園路交差のあり方

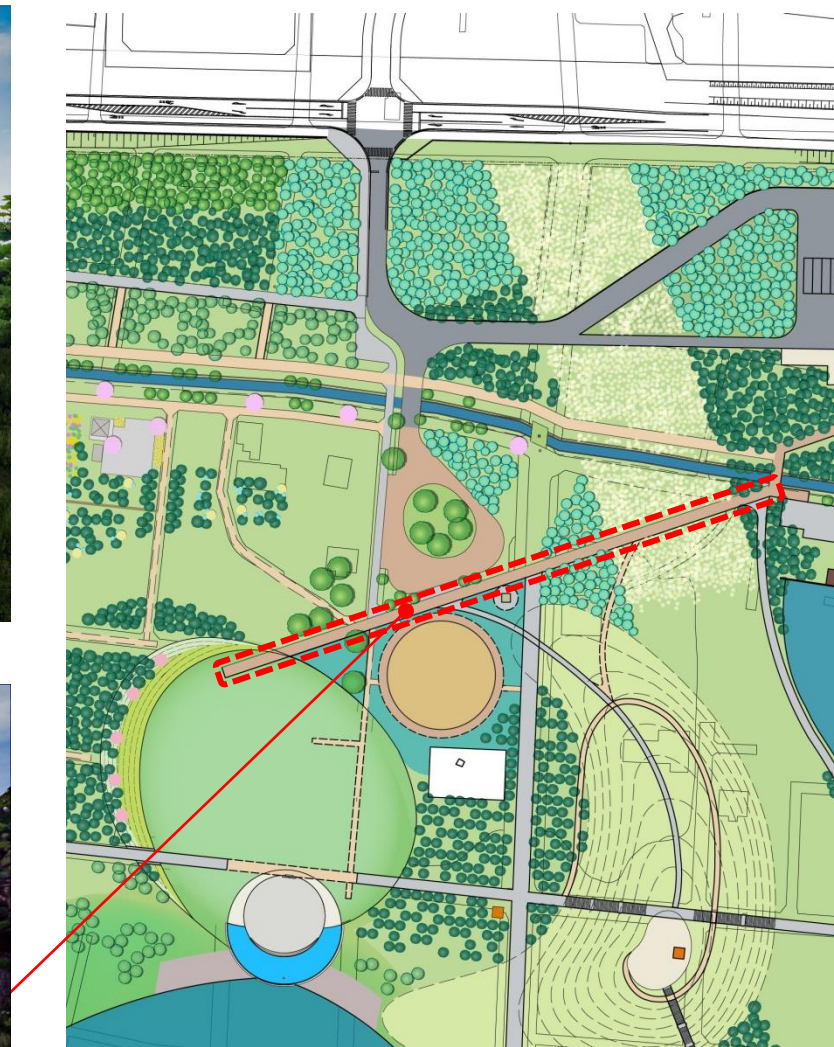
# 門脇広場から中核的施設を経て祈りの場に至る空間の舗装の検討(1)



従前のアプローチ園路のイメージ (600×600灰色 リブ付コンクリートブロック平板)

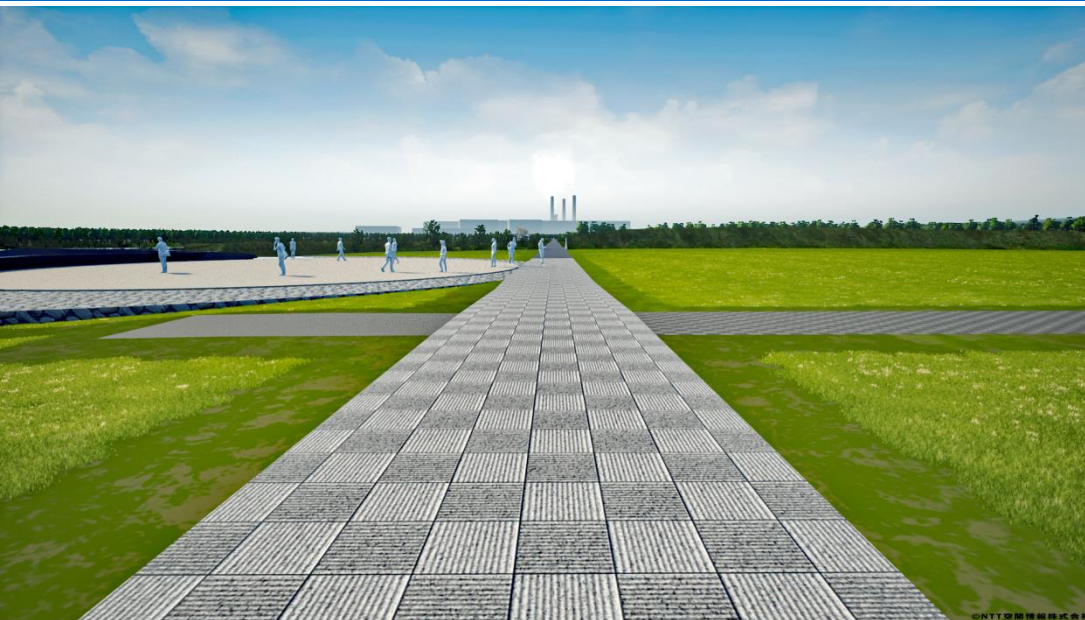


検討後のアプローチ園路のイメージ (濃灰色コンクリート舗装 5mmカッター目地)

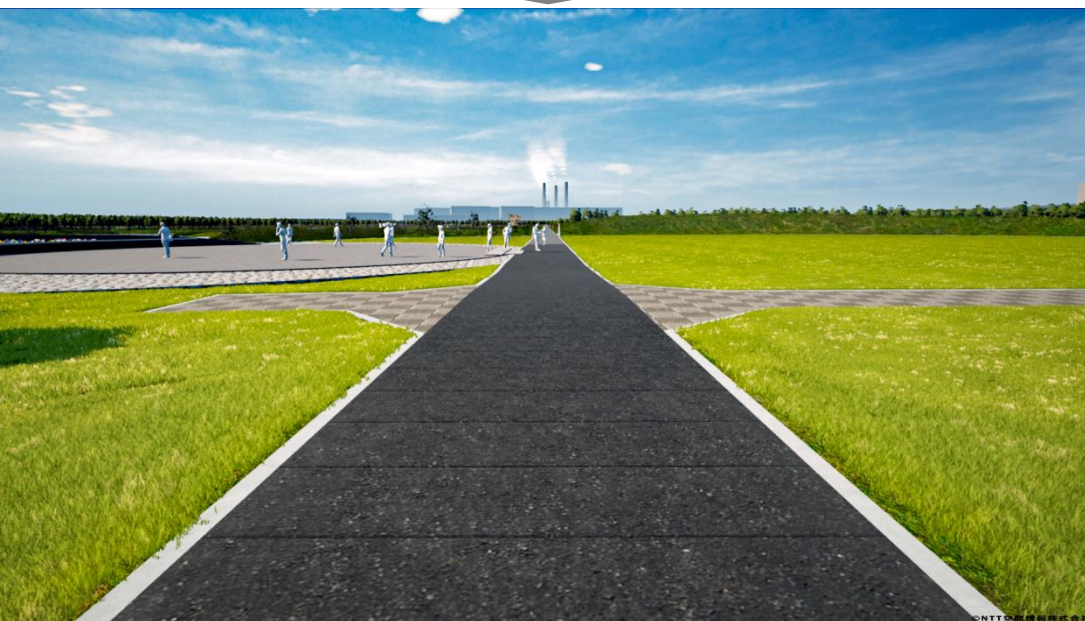


聖人堀を渡り、落ち着いた色合いと静ひつな  
雰囲気醸す素材で、祈る事へ気持ちを高め  
るよう導く。祈りの場まで歩調に合わせてリズ  
ム刻むよう90cm間隔でカッター目地を入れる。

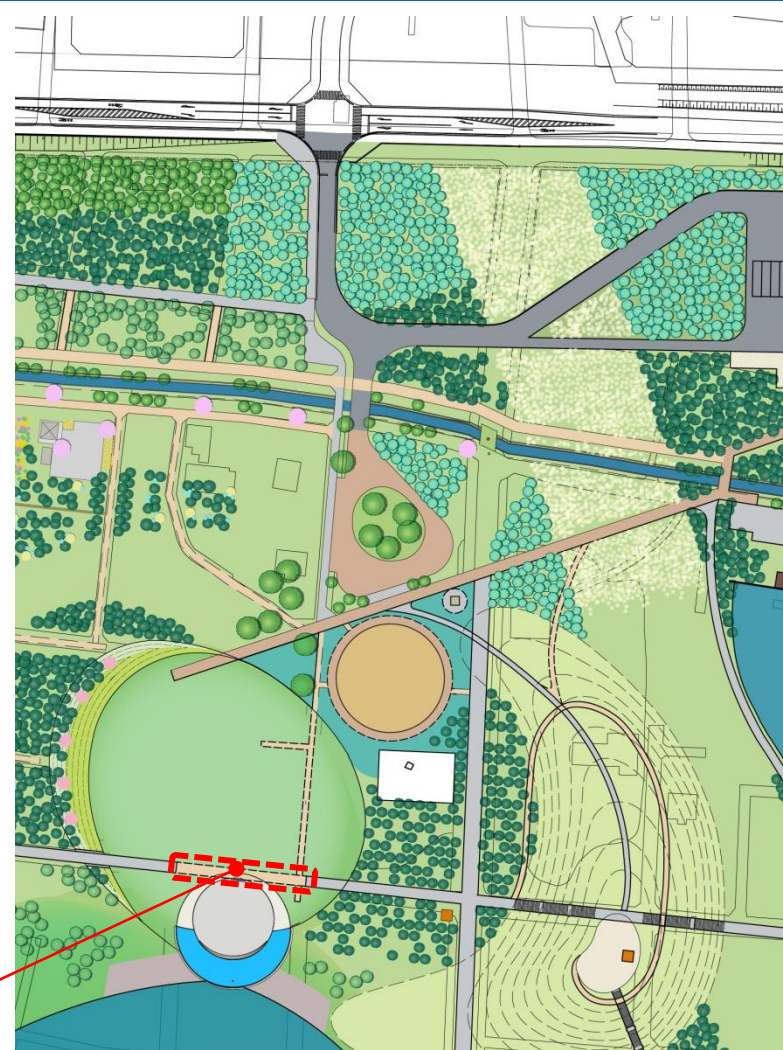
# 門脇広場から中核的施設を経て祈りの場に至る空間の舗装の検討(2)



従前の祈りの場前園路のイメージ (600×600灰色 リブ付コンクリートブロック平板)

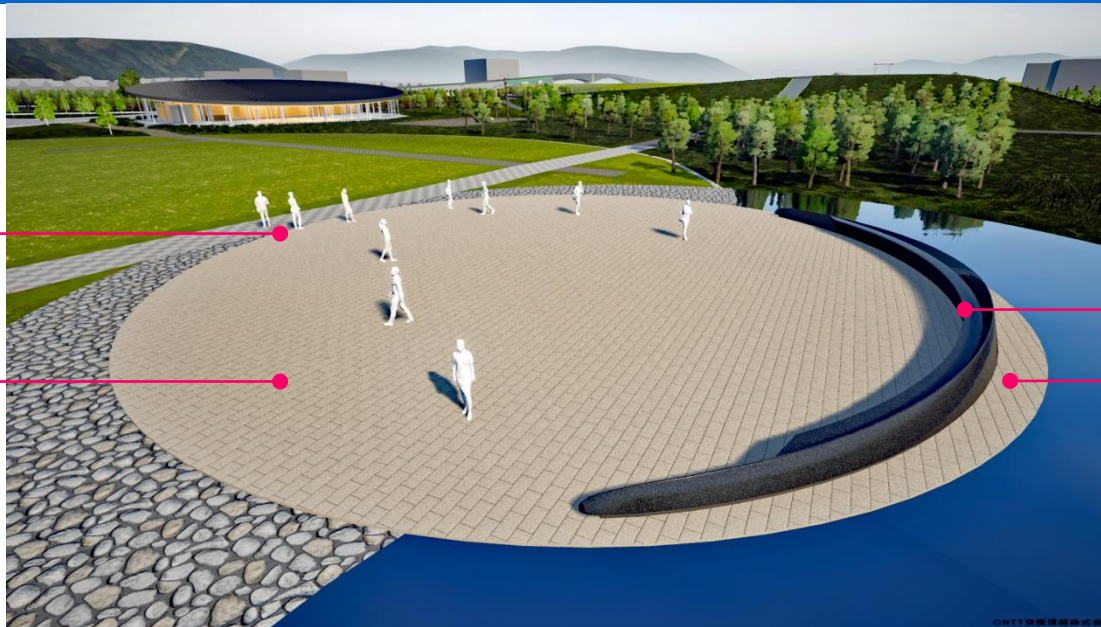


検討後の祈りの場前園路のイメージ (濃灰色コンクリート舗装 5mmカッター目地)



中核的施設や追悼の広場を経て、祈りの場に至る前に、改めて祈る事へ気持ちを高めるため、祈りの場に接するかつての中町通の区間の舗装もアプローチ園路に合わせる。

# 祈りの場の空間デザイン検討



園路に直に接する入口

御影石舗装 (300 × 600)

同一素材による献花台

メンテナンス用スペース

従前の祈りの場イメージ



稲井石による入口明示

濃灰色コンクリート舗装

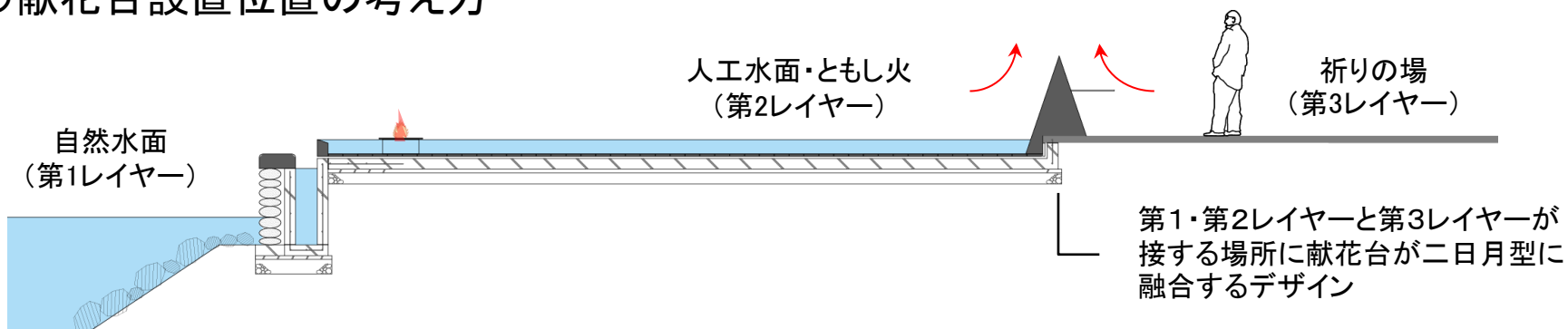
空を映す素材の献花台

水中から立上る台座

検討した祈りの場イメージ



## ○献花台設置位置の考え方



# 祈りの場献花台デザインの考え方

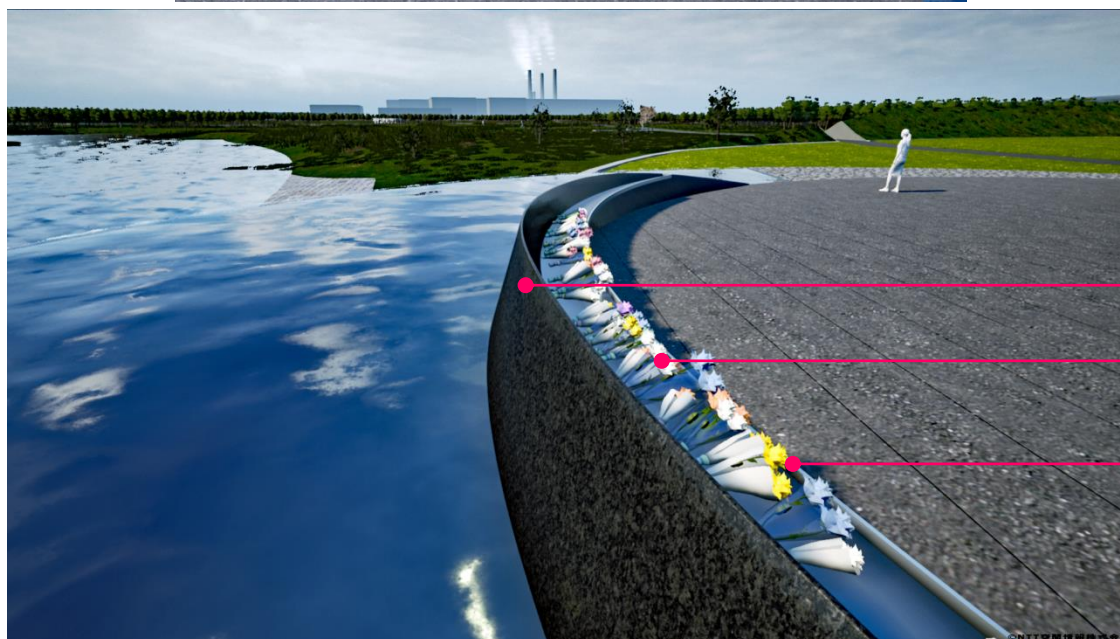
## ○花台の詳細検討

- 式典時のVIPの献花場所になることを想定する。
- 献花スペースがベンチと勘違いされないよう、ステンレスの鏡面仕上げとし、中央部を幅広く、端部を狭くして二日月形状と調和させる。
- 花を手向け手を合わせて頭を下げた時に、鏡面仕上げのステンレス板に映る空に祈ることにもなるデザインとする。

中央部の献花スペース幅は広くする(W=600程度)



端部の献花スペース幅は狭くして二日月型の台座と同調させる(W=300程度)



自然石の台座

ステンレス鏡面仕上げ

ずれ止めストッパーを施す

# 献花スペースの事例

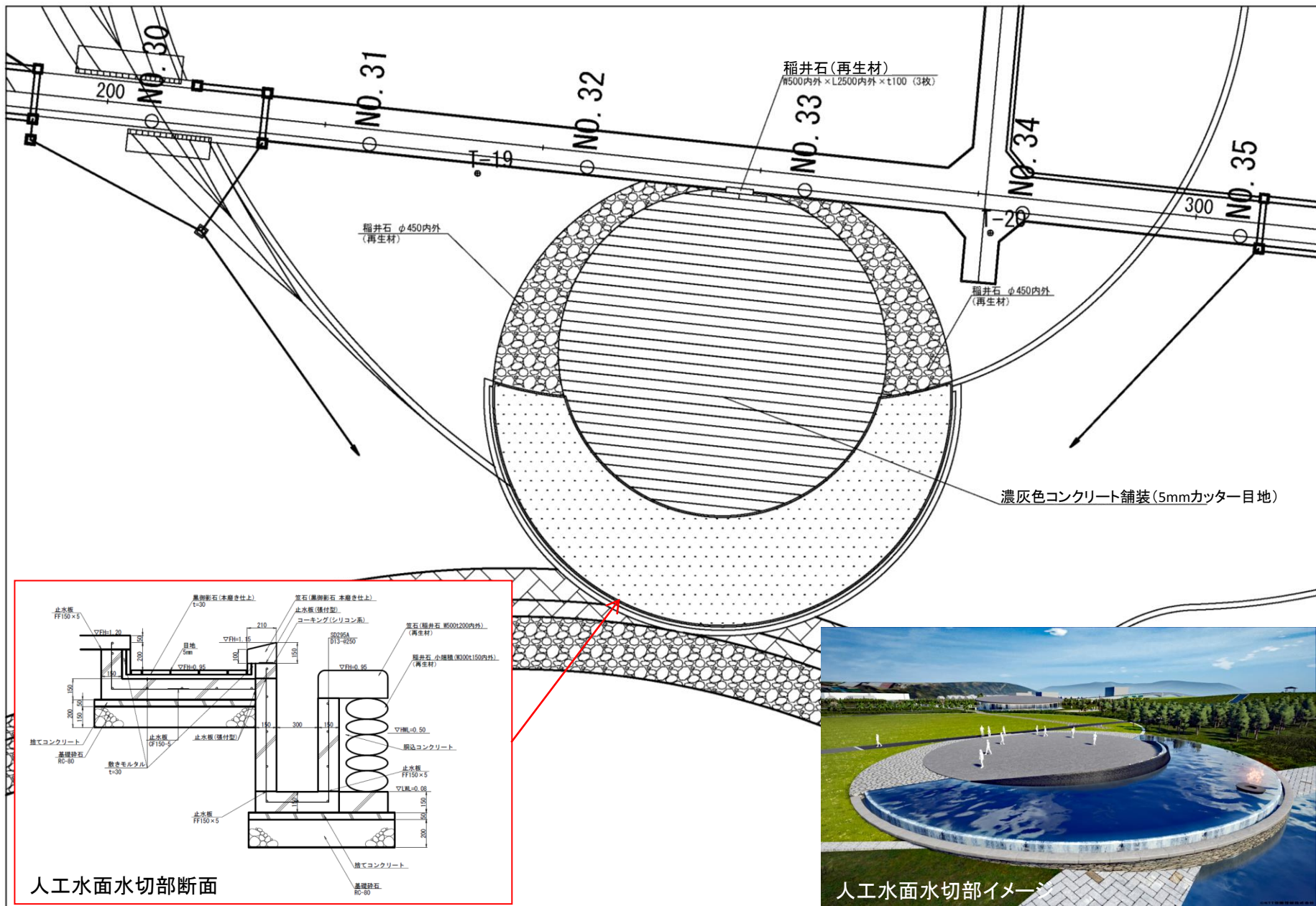
○「3.11のつどい」で実行委員会が設置した献花台



平成30年3月11日撮影



# 祈りの場人工水面水切部の検討



## 第2レイヤーである街の記憶を尊重したVIP動線の設定



従前のVIP動線車廻しの空間



従前のVIP動線の見通し

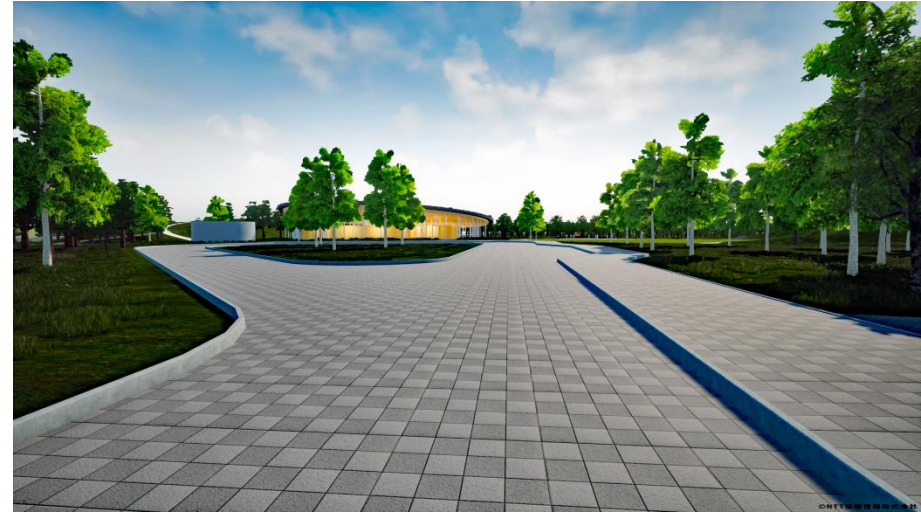
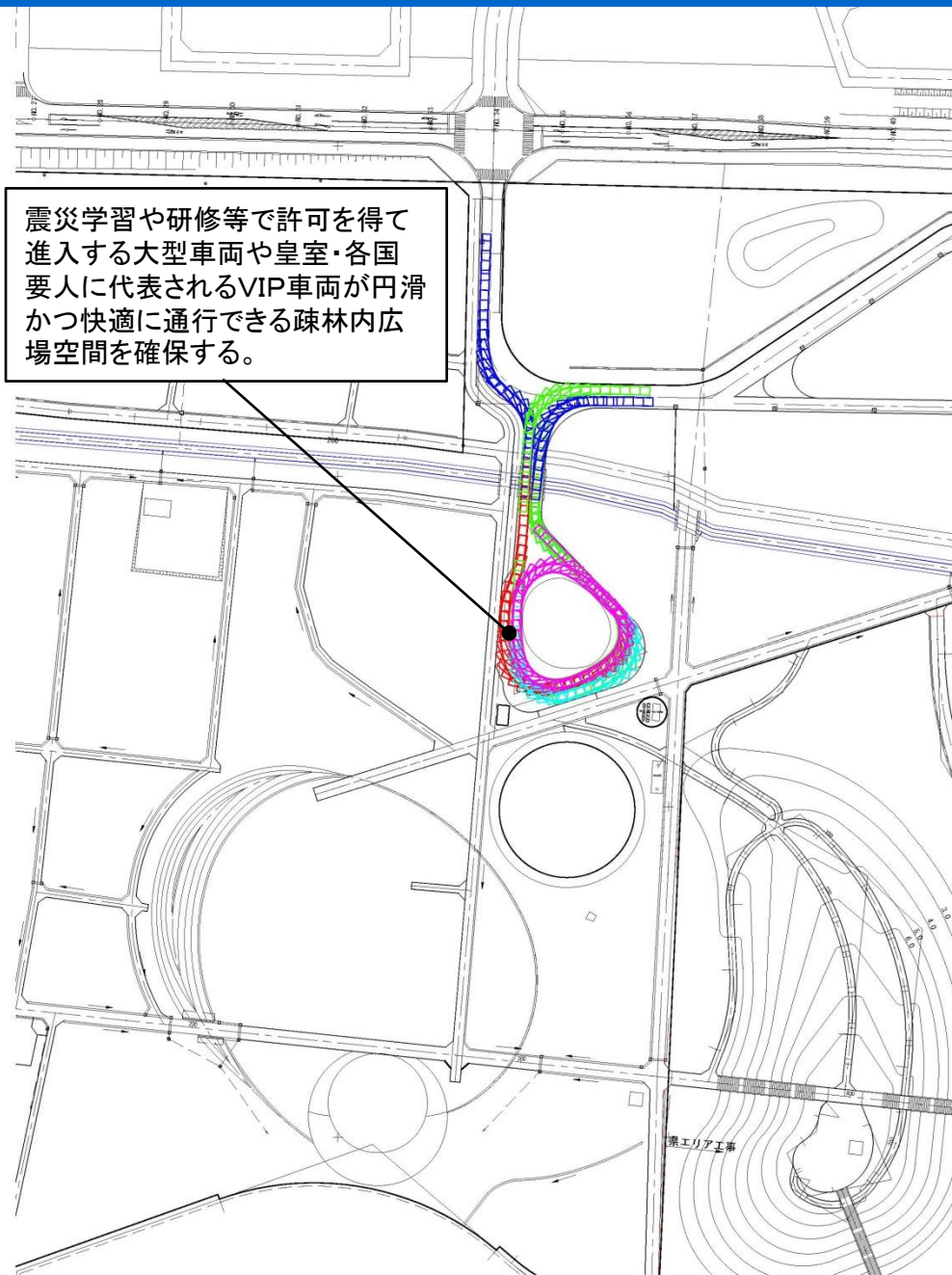


かつての街路線形を尊重し、その東側にVIP動線車廻しの空間を設定した



街の記憶に倣って再検討したVIP動線の見通し

# 疎林の中の広場を思わせるVIP動線の空間デザイン(1)

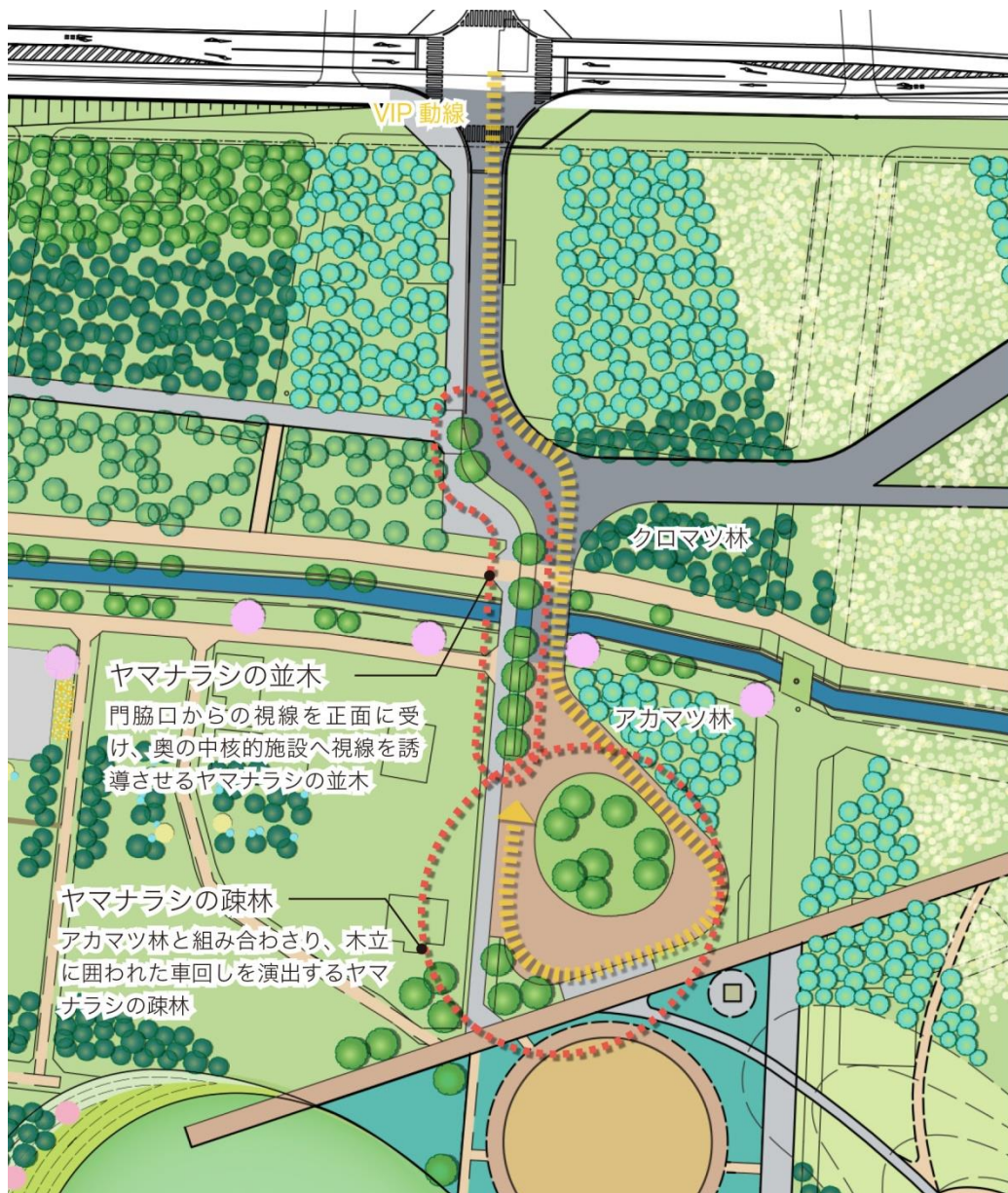


従前のVIP動線



検討したVIP動線

# 疎林の中の広場を思わせるVIP動線の空間デザイン(2)

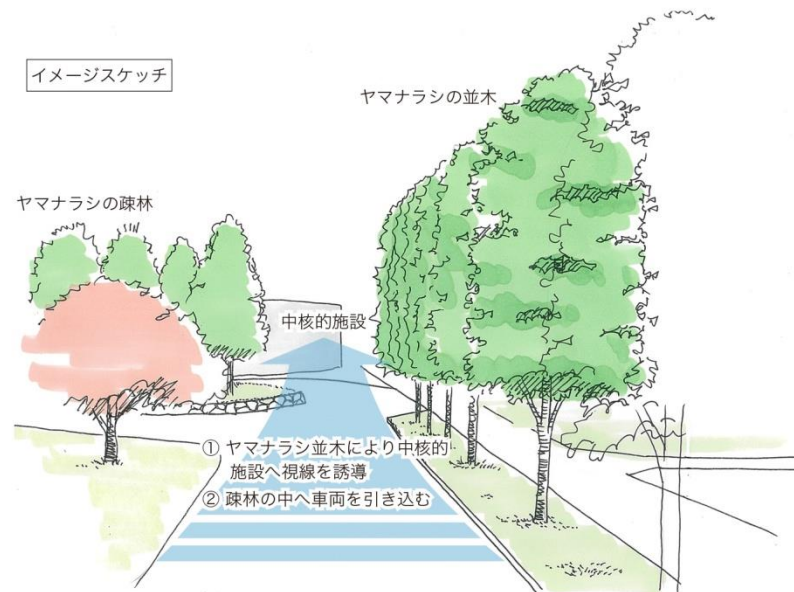


ヤマナラシ  
樹高10数mを超える通直な幹が特徴のヤマナラシを植栽し、中核的施設周りを際立たせる



アカマツ林  
ヤマナラシと明るいアカマツ林を組み合わせ、木立に囲まれた車回しを演出する

イメージスケッチ



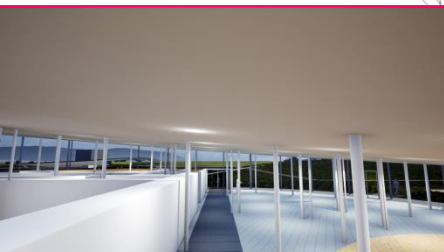
# 第2の祈りの場と位置付けた中核的施設の仕上げ(1)



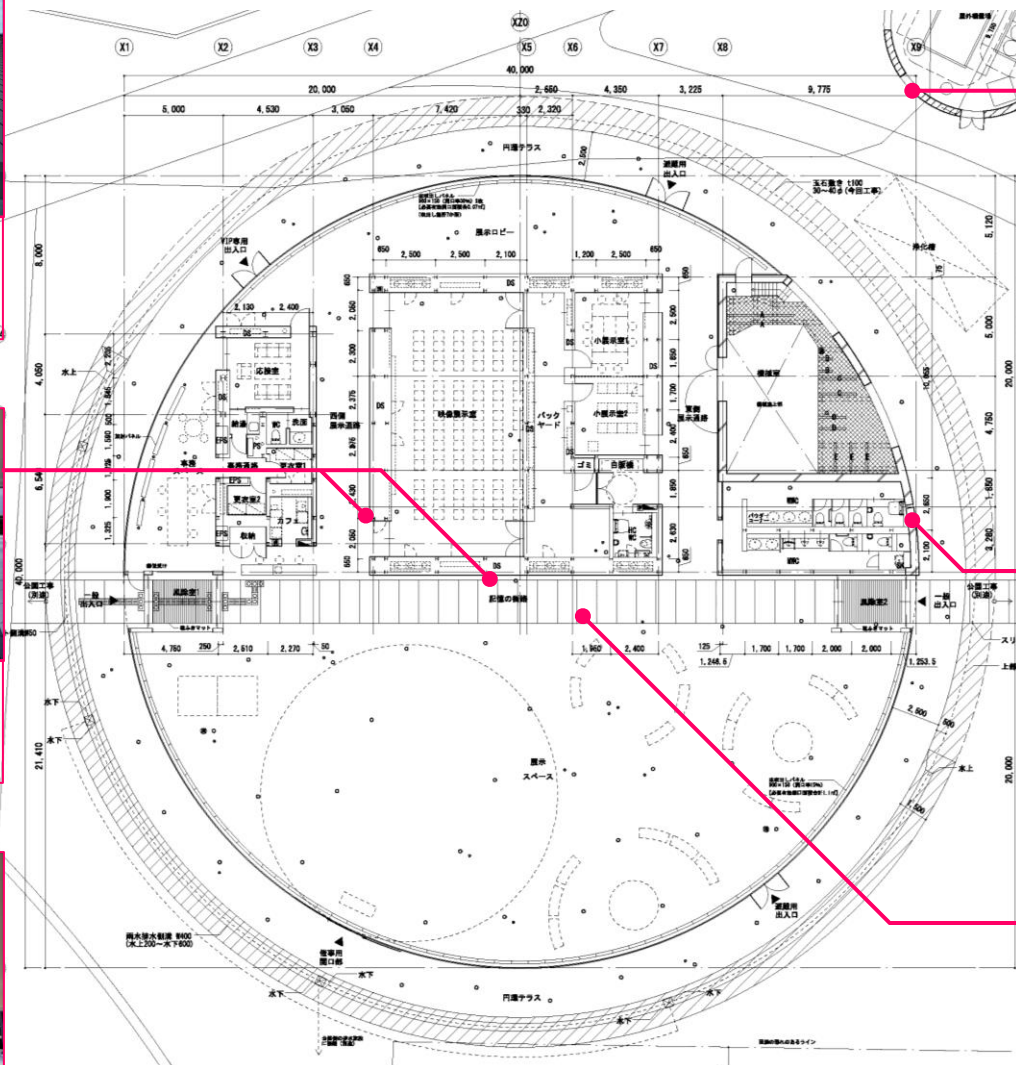
■屋根  
カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板  
t=0.5 標準縦ハゼ



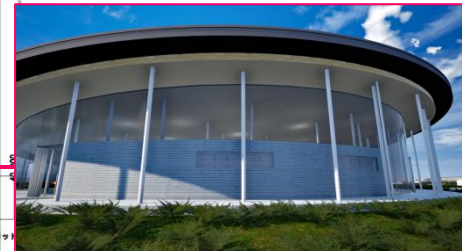
■壁  
石膏ボード+エマルジョンペイント  
t=9.5・12.5



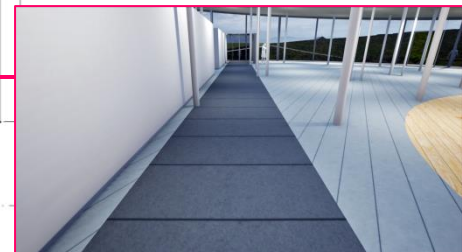
■天井  
石膏ボード+エマルジョンペイント  
t=12.5



■屋外機目隠し壁  
コンクリート打ち放し型枠  
B種



■RC壁  
コンクリート打ち放し型枠  
B種



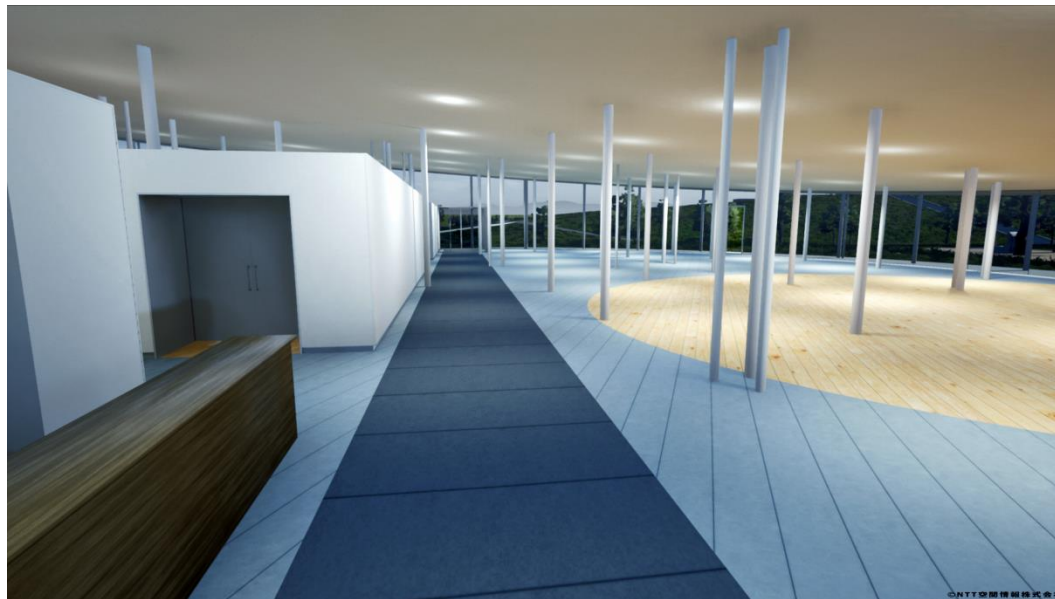
■床PC板  
コンクリート直均し仕上げ  
表面強化剤



## 第2の祈りの場と位置付けた中核的施設の仕上げ(2)

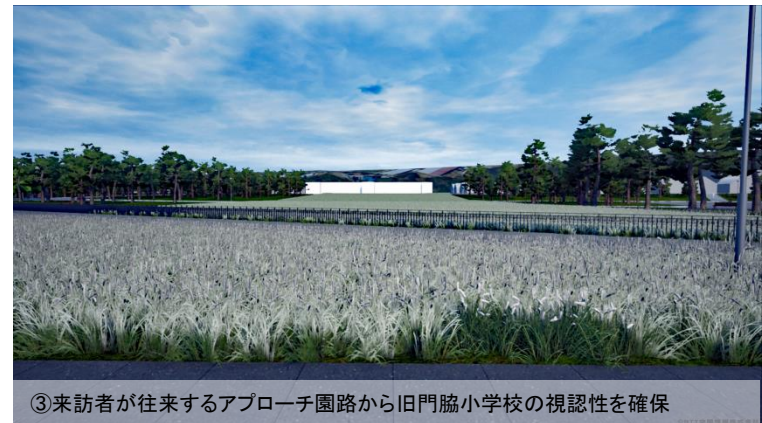
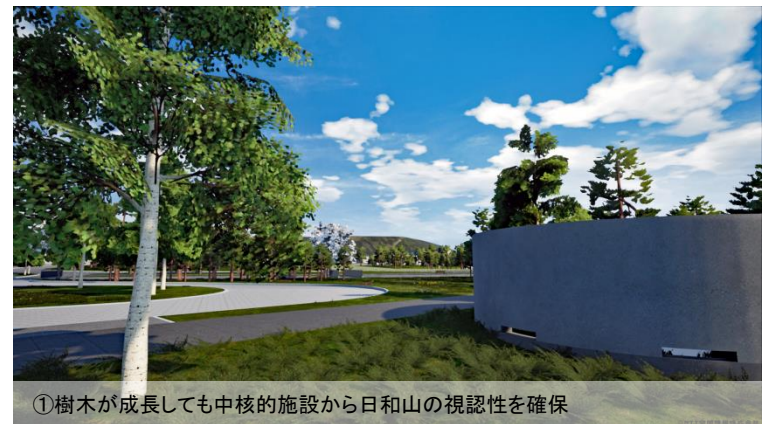
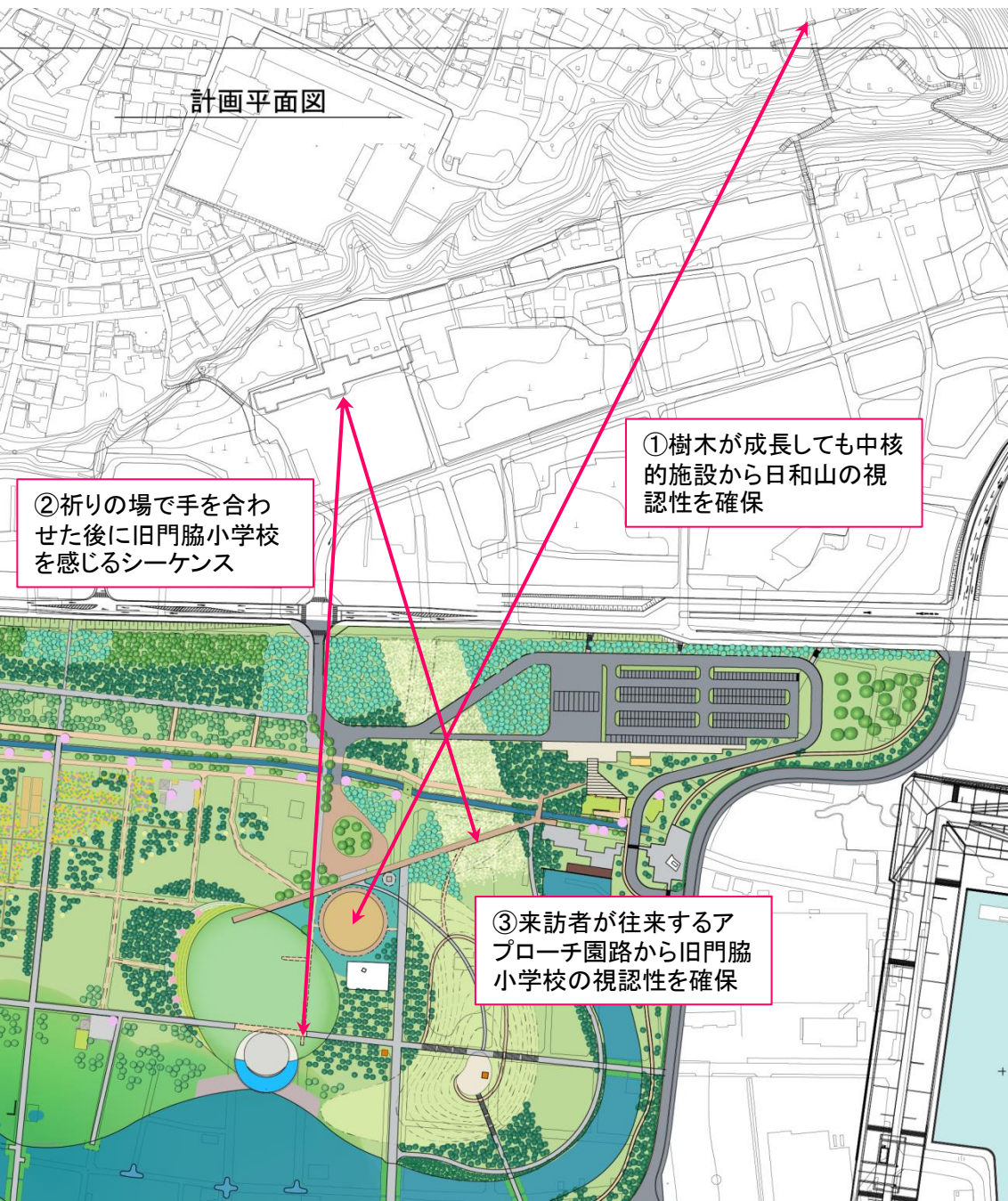


従前の中核的施設のイメージ



内装を検討した中核的施設のイメージ

# 中核的施設からの日和山が意識し続けられる高木植栽位置の設定



# 中核的施設からの避難を考慮した外構植栽



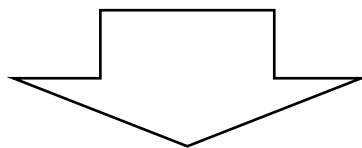
従前の中核的施設非常口付近のハイネズ植栽イメージ



避難を考慮した中核的施設非常口付近のハイネズ植栽イメージ

# 既存構造物を活用した聖人堀の空間デザイン検討

- 既存の水路を撤去し、新たに石積護岸を整備する計画で、平成28年度の空間デザイン検討委員会での議論を経て、有識者委員会で承認
- 周辺事業の整備が進む中で、公園区域を含む周辺地域全体の雨水処理の関係から、**流末として既存水路の存在は不可欠**であることを確認

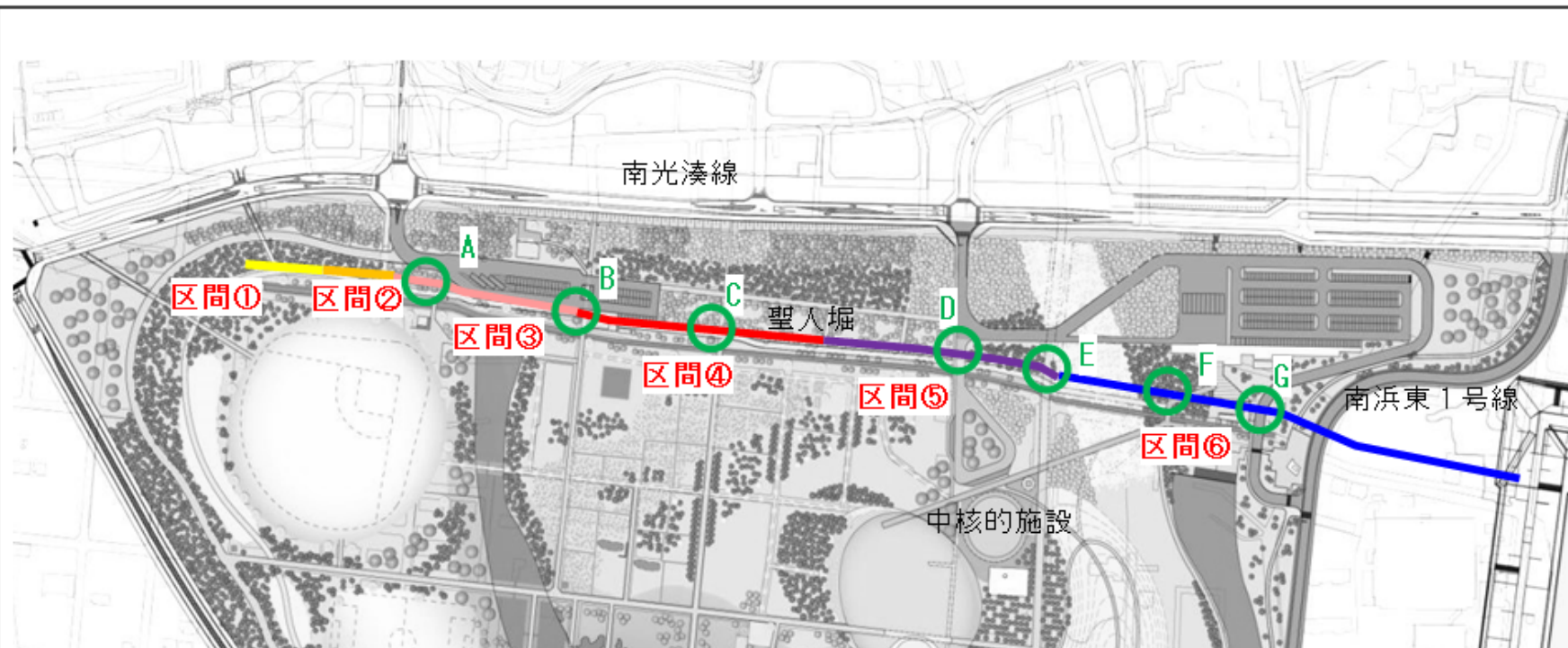


このため、本公園の整備コンセプトとの整合を図りつつ、**既存の聖人堀水路構造**を活用した公園整備のあり方を検討する。

## ○空間デザインの考え方

- かつての水路を残し、開渠としてその姿を見せることで、第2レイヤーの「**街の記憶**」を表す空間としてデザインする。
- 聖人堀北側に水路と平行な園路が第3レイヤーとして設定されており、ここを**視点場**として、かつて街が存在した南側を望む空間構成でデザインする。

# 聖人堀既存構造物の把握【構造物の規格と園路横断箇所】の整理】

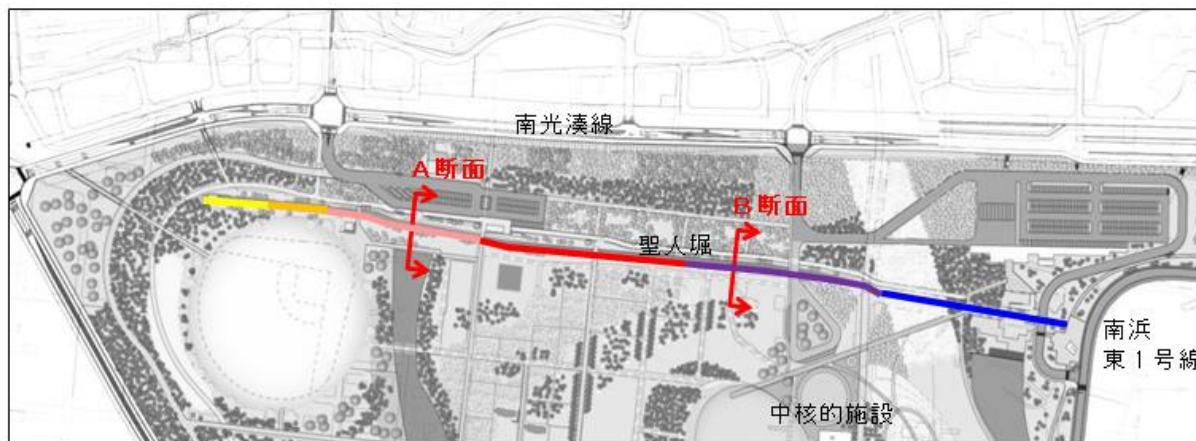


○水路の断面及び延長

○園路横断箇所の計画条件

区間	水路断面 (m)	区間 延長	横断 位置	水路断面 (m)	園路区分	整備 主体	備考
区間①	1.9×1.4	115m	A	3.0×1.5	補助幹線園路	石巻市	
区間②	3.0×1.2	47m	B	3.0×1.5	補助幹線園路	国	既存横断部
区間③	3.0×1.5	128m	C	3.0×1.7	幹線園路	国	
区間④	3.0×1.7	172m	D	3.0×1.8	7°ローチ園路	国	
区間⑤	3.0×1.8	166m	E	3.0×1.8	避難時動線	国	
区間⑥	3.0×1.9	155m	F	3.0×1.9	幹線園路	国	
合計		783m	G	3.0×1.9	7°ローチ園路	国	

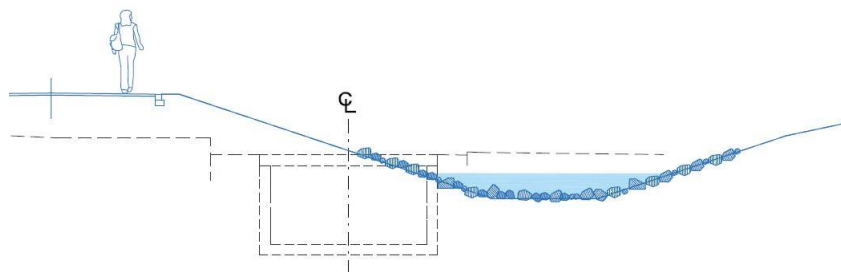
# 既存構造物を活かした断面構造のあり方



## A断面

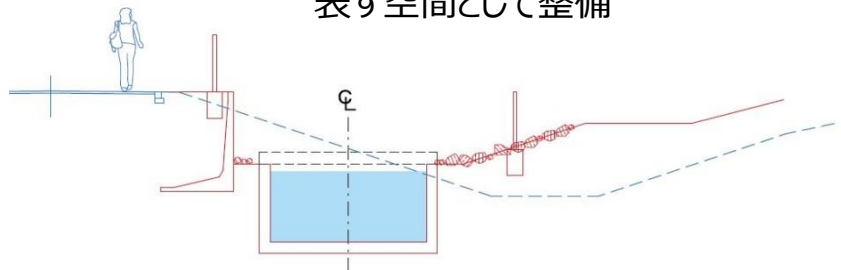
【当初案】

既存水路を撤去し、緩勾配化



【修正案】

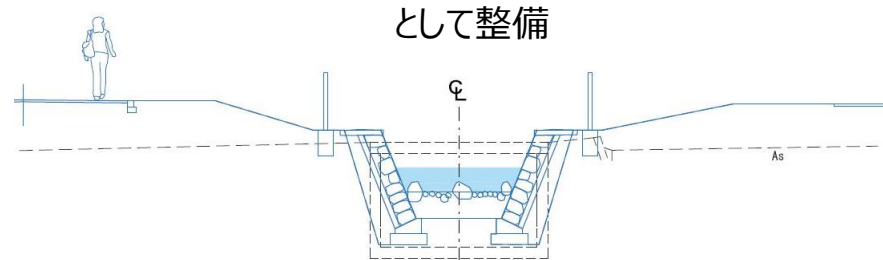
既存水路を存置し、街の記憶を表す空間として整備



## B断面

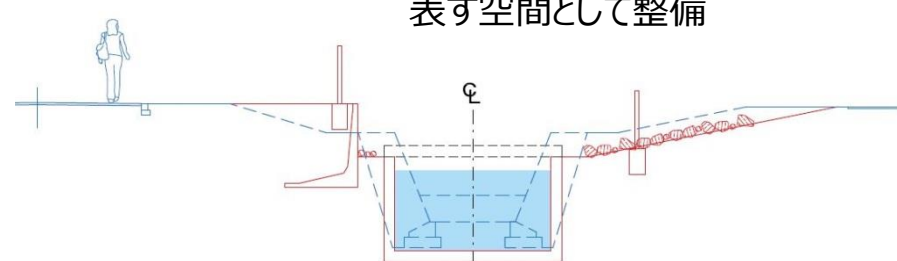
【当初案】

既存水路を撤去し、石積護岸として整備



【修正案】

既存水路を存置し、街の記憶を表す空間として整備



# 既存構造物を活かした断面構造イメージ【A断面】

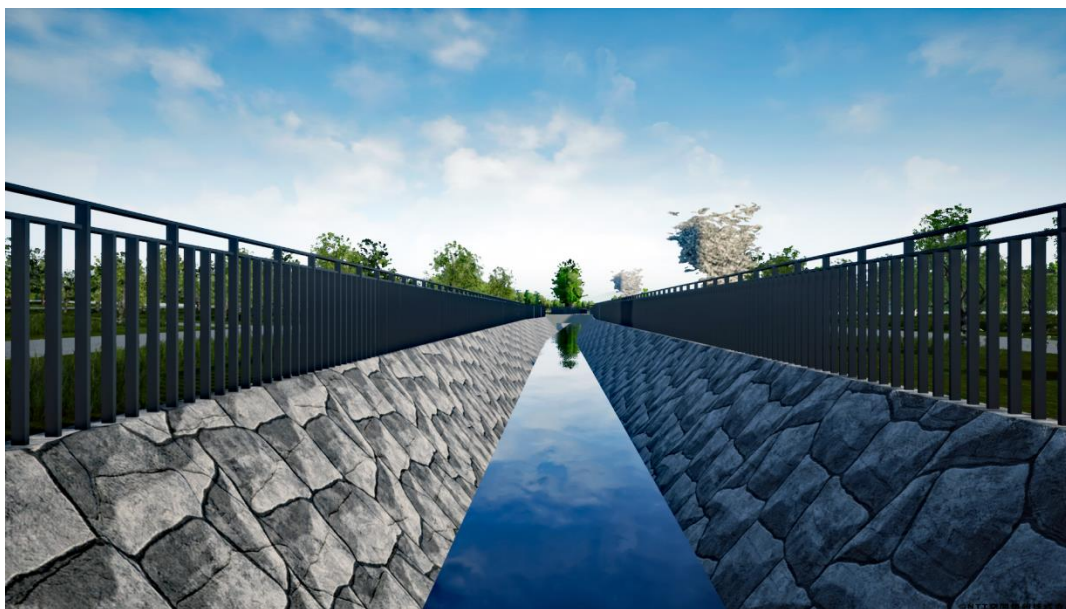


従前の聖人堀の A 断面イメージ

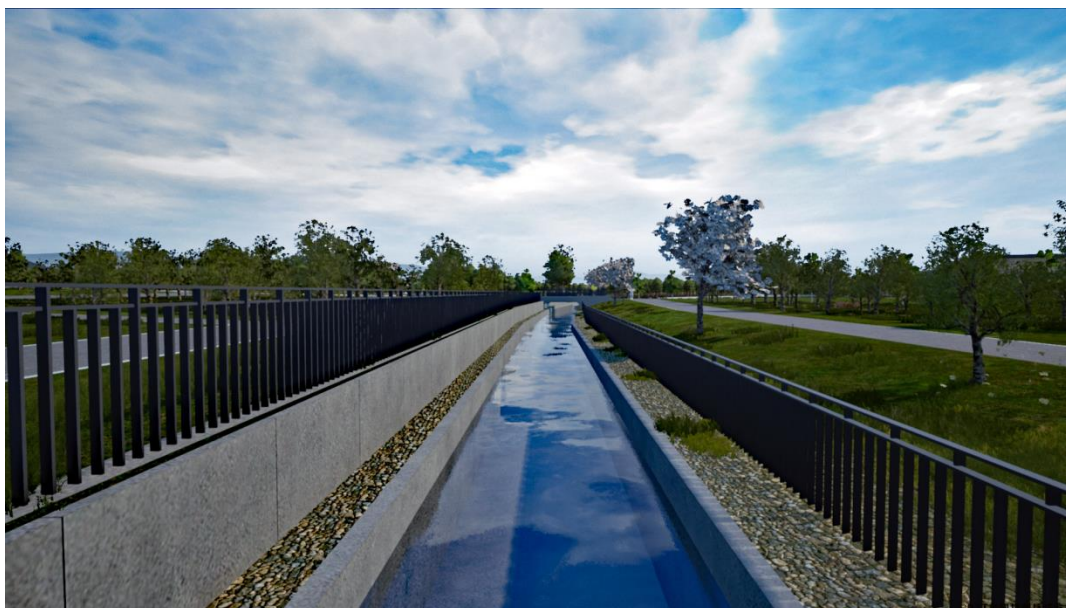


既存構造物を活用した聖人堀の A 断面イメージ

# 既存構造物を活かした断面構造イメージ【B断面】



従前の聖人堀のB断面イメージ

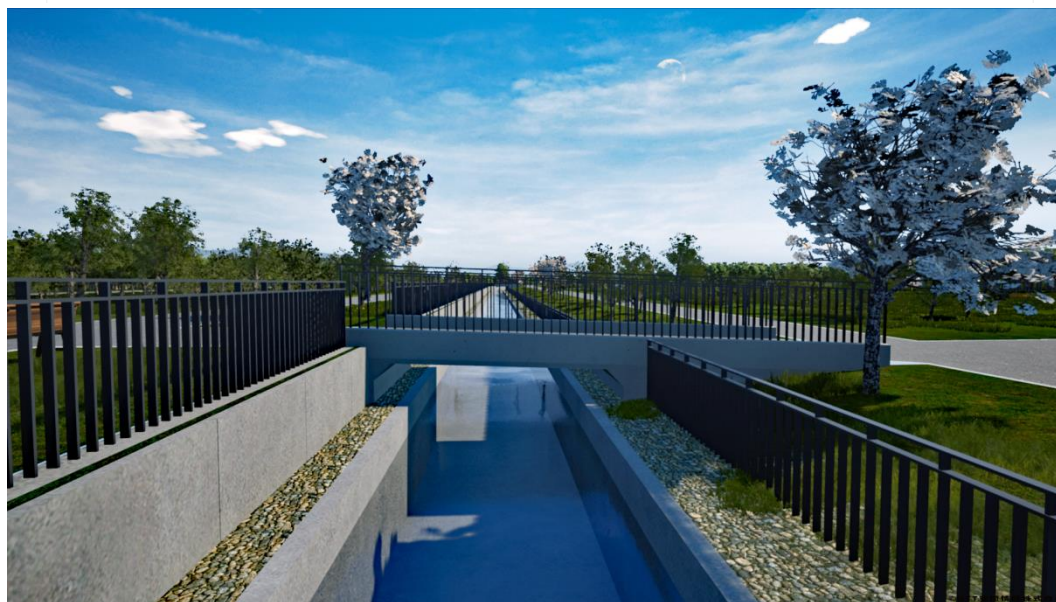
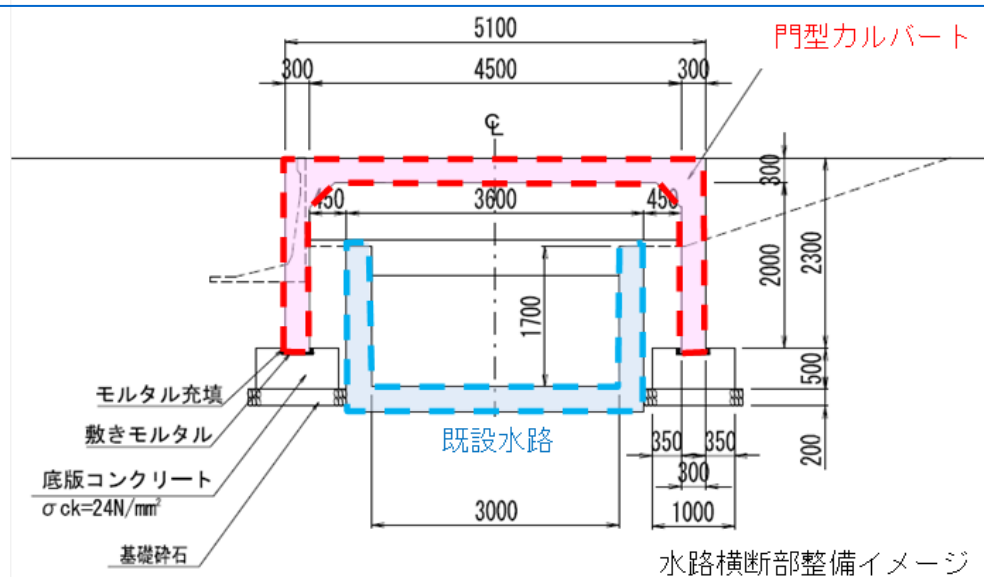


既存構造物を活用した聖人堀のB断面イメージ



# 既存構造物を活かした園路交差のあり方

- 水路横断箇所は、水替え手間や既存構造物への荷重負荷低減の観点から、下図のように、既設水路の上に門型カルバートを設置し、水路上部に園路を整備する。



園路横断部のイメージ